



2015年1月～2023年12月に徳島大学病院あるいは徳島大学医学部で外科手術後の病理組織検査、あるいは病理解剖を受けた方、及びご家族の皆様へ

組織アレイを利用した虚血誘発性細胞応答反応の責任分子の発現プロファイリング調査の実施について

1. 本研究の目的および方法

生体組織で栄養成分枯渇が起こる原因の殆どは不十分な血液供給、いわゆる虚血であり、これによる低酸素状態と協調または連動することによって細胞死を引き起こします。しかし、虚血状態から細胞死に至るまでの過程において、栄養成分枯渇と低酸素状態が細胞内で進行する様式については現在ほとんど分かっておらず、そのため虚血がもたらす様々な細胞応答反応が栄養成分枯渇と低酸素状態のどちらに起因するのかも未知のままです。本研究の目的は、固形腫瘍および虚血性疾患と診断された病理解剖標本を用いて組織アレイ標本を作成し、虚血誘発性細胞応答反応の責任分子の発現と特異性のプロファイリングを調査することです。

研究対象者は、各種固形腫瘍および虚血性疾患と診断され、2015年1月～2023年12月に本院あるいは徳島大学医学部で、外科手術後の病理組織検査、あるいは病理解剖を受けた方です。

外科手術や病理解剖で採取された臓器の顕微鏡標本で壊死巣があるかどうかを再評価し、当時の電子カルテ情報から、ルーチン(通常良く検査する)検査項目や身長、体重なども含む検査値などを参照しながら、虚血誘発性細胞応答反応の責任分子の発現と特異性の判別をしていきます。研究全体の実施期間は徳島大学病院生命科学・医学系研究倫理審査委員会の承認を経て所属機関の許可日～2026年12月31日で、予定症例数は100例です。

本研究は、倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

2. 研究に用いる試料・情報の項目、保管方法、および将来の研究利用の可能性について

情報:性別、年齢、身長体重、臨床診断名、病理診断名、病理検査番号、身長、体重 等

試料:外科手術材料、病理解剖症例の臓器ホルマリン固定パラフィン包埋ブロック、外科的切除後の残余検体 等

本研究では情報を扱う場合には個人情報とは無関係の記号を付して管理し、その番号を使用することで、個人が特定できないように匿名化する。匿名化にあたっては対応表を作成するが、対応表は研究責任者の常山幸一が施錠可能な棚にて10年間管理を行い外部への提供は行いません。

本研究で収集した試料・情報は、本研究の目的・内容と関連性のある将来の研究(がん関連分子に関する免疫組織学的研究)に利用される可能性があります。なお、他機関で実施される研究へは提供されません。

実際に試料・情報を利用する場合には、倫理審査委員会に申請して適正な手続を踏んで行います。

3. 研究結果の公表について

本研究の結果は学会や雑誌等で公表することがありますが、公表に際しては特定の研究対象者を識別できないように措置を行った上で取り扱います。



4. 研究資金および利益相反管理について

本研究における特別な研究資金はありません。本研究は本院の研究費のみを使用して実施されます。本研究の利害関係については、臨床研究利益相反審査委員会の審査を受け承認を得ています。

5. 本研究への参加を拒否する場合

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書、及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、外科手術、あるいは病理解剖を受けられた患者さんのご家族の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

6. 研究責任者および連絡(問合せ)先

【研究機関】 徳島大学大学院医歯薬学研究部

【研究責任者】

所属・職名・氏名 疾患病理学分野 教授 常山幸一

【連絡先】

所属・職名・氏名 徳島大学大学院医歯薬学研究部 疾患病理学分野 教授 常山幸一

電話番号 088-633-7065

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい。